学校番号	3009

令和８年度　工業科（建築系）

教科	工業科（建築系）	科目	建築実習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	『建築施工』・『建築構造』・『建築設計製図』（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築実習は、単に機器、装置のオペレート技術や、職業的技能を身に付けるだけではなく、安全衛生（５Ｓや報連相など）、技術者としての倫理観、環境及びエネルギーへの配慮について総合的に理解し、産業界を支える人材となることが目標です。

実習の中では、建築製図や、建築設計、建築構造などの専門に関する座学や、理科・数学などの教科で学んだことを活用し、学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2　学習の到達目標

建築の専門分野に関する技術を実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

また、各種材料・各種工法・各種器具の通り扱い等の知識と技術を習得し、経済的指標を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築実習(材料･施工･設計･測量)に関する基礎的･基本的な知識と技術を身に付け、その知識と技術を合理的で適切に活用する能力を身に付けている。	建築実習(材料･施工･設計･測量)の基礎的･基本的な知識と技術を基に、設計者や施工管理者といった建築技術者として、適切に判断し表現する能力を身に付けている。	建築実習(材料･施工･設計･測)に関する課題について関心をもち、その改善･向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
パート1	材料実習	1．骨材のふるい分け試験 2．コンクリートの調合設計 3．コンクリートのスランプ試験 4．コンクリートの圧縮強さ試験 5．コンクリートの非破壊試験 6．鉄筋の引張り強さ試験	a:建築材料に関する基礎知識を身に付け、材料実験を手順通りに実行できている。 b:建築材料の基礎知識を基に、実験データを的確に処理し、その結果を適切に判断・表現する能力を身に付けている。 c:建築材料に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況 観察 ワークシート 提出状況	学習状況 観察 提出課題 内容	授業参加状況 ワークシート 提出状況
パート2	施工実習	1. 安全教育 2. 工具の整備 3. 施工図の読み取りと墨出し 4. 継手と仕口① 5. 継手と仕口② 6. 調整、建方作業	a:各種機器工具に関する基礎知識を身に付け、適切で安全に活用している。 b:施工図の基礎知識を基に、加工方法を判断し、適確に表現する能力を身に付けている。 c:施工に関心をもち、その改善・向上をめざし主体的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況 観察 ワークシート 提出状況	学習状況 観察 提出課題 内容	授業参加状況 ワークシート 提出状況
パート3	設計実習	1．鉄筋コンクリート構造鉄筋 RC造のエスキスの手順 RC構造のエスキスの知識 2. 木造の作図 木造のエスキスの手順 木造のエスキスの知識	a:プランニングに関する基礎知識を身に付け、合理的に計画し、技術を適切に活用している。 b:設計の基礎知識を基に、用途と動線計画を判断し、適確に表現する能力を身に付けている。 c:設計に関する課題に関心をもち、改善・向上をめざし主体的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況 観察 ワークシート 提出状況	学習状況 観察 提出課題 内容	授業参加状況 ワークシート 提出状況
パート4	測量実習	1.トータルステーションの取り扱いと据付 2．水平角と水平距離、レベル測定 3. 座標測定の手法と演習 4．測量アプリケーションを使用した座標入力による測量図の作成	a:各種測量機器の操作法を身に付け、設置から集約まで手順通りに実行できている。 b: 測量の基礎知識を基に、的確な操作手段を判断し、適切に表現する能力を身に付けている。 c: 測量に関心をもち、その改善・向上をめざし主体的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況 観察 ワークシート 提出状況	学習状況 観察 提出課題 内容	授業参加状況 ワークシート 提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度